

日交研シリーズ A-779

平成 31 年度自主研究プロジェクト

「ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの地域別に見た成立要件に関する研究」

刊行：2020 年 9 月

ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの
成立要件のあり方に関する研究

Study on the Consideration requirement about new logistics services by the Change of Lifestyle

主査：岩尾 詠一郎（専修大学 商学部）

Eiichiro IWAO

要 旨

消費者の生活様式（ライフスタイル）の変化により、消費者の購買行動や受発注方法も変化してきている。この購買行動や受発注方法の変化により、物流事業者に求められるニーズも変化していると考えられる。このとき、受発注方法が変わると、商品の運び方も変わる場合があり、この商品の運び方の変化は、物流活動を増やす要因のひとつとなっている。一方、増加する物流活動を担う物流事業者は、貨物自動車の運転手不足などにより、従来と同じような物流サービスを実施していくことが困難になってきている。

そこで本研究では、産業大分類ごとに取り上げた物流サービスを対象に、物流サービスの特徴や発生した契機、および物流サービス実施による消費者や着荷主と物流事業者への影響を明らかにしていくことを通じて、消費者や着荷主の物流サービスに対する要求と、物流事業者が提供可能な物流サービスとのバランスの必要性を明らかにしていく。

具体的には、下記の手順にそって研究を進めた。

1 章『はじめに』では、本研究の背景と目的について述べた。

2 章『物流サービスの定義と事例』では、物流サービスの定義と種類を示すとともに、産業大分類別に物流サービスを取り上げ、それぞれ物流サービスの特徴と内容を示した。

3 章『物流サービスが発生した契機』では、2 章で示した物流サービスが発生した契機を明らかにした。

4 章『物流サービスの変化の類型』では、2 章で示した物流サービスと従来の物流サービスの差異を類型化した。

5 章『物流サービスによる影響』では、4 章で分類した物流サービスの類型ごとに 2 つ程度の事例を示し、物流サービス実施による影響と、物流サービスの実施可能地域を示した。

6 章『まとめ』では、本研究の結論と今後の課題について述べた。

キーワード：物流サービス、消費者、物流事業者

Keywords : Logistics services、Consumers、Logistics Companies